

道祖神って何？

道路の悪霊を防いで行人を守護する神。日本では、「さえのかみ」と習合されてきた。くなとのかみ。たむけのかみ。

広辞苑第六版より

このように広辞苑では書いていますが、皆さんは今まで道祖神を見たことはありますか？

道祖神の起源は不明ですが、8世紀半ばの文書には地名・姓としての「道祖」がすでに記されていました。

今回は長野県松本の美ヶ原温泉と安曇野の道祖神を取り材してきました。

美ヶ原に祭られている道祖神の御神体はかつて国有林内に樹齢数百年風雪に耐えて来た赤松の銘木で通称「抱き合いの松」として称賛されていましたが、雪害のため枯死するに至り、その一部を保存安置したものです。

子孫繁栄を護り、縁結び、子宝に恵まれない人々を救う神として崇拜されています。





～道祖神 in 安曇野～



安曇野の大自然アルプスの山々と透き通った河川



色彩のある道祖神像 握手 (1883) ほか